

仕事の変革・改革を実現するスキルパッケージ

●日時● 2017年12月6日(水) 10:00~16:30

●会場● 東京・平河町「厚生会館」

講師
株式会社ニューチャーネットワークス
チーフコンサルタント

張 凌雲 氏

【講師紹介】

横浜国立大学大学院経営学研究科会計・経営システム専攻卒業後、大手外資系ソフトウェア会社入社、その後、経営コンサルティング会社「ニューチャーネットワークス」に入社、現在に至る。
“組織変革”のキーとなる経営課題を見つけ、解決させることで、中長期戦略ビジョン、業績向上の実現を支援。また、短期間で組織のパフォーマンスを高め、ストレッチされた数値目標を達成する「ブレイクスループロジェクト」を数多く実施。

◆開催にあたって

仕事の生産性を向上するには組織全体での取り組みが不可欠です。特に、基本ではありますが「基礎的な改善手法」や「会議の進め方」、「仕事の仕方」等のスキルが組織内で共有されることは、全体の生産性を大きく向上させます。

社会人として当たり前と思われるこれらスキルですが、会社共通の基盤として組織的・体系的に整備されたケースは少なく、認識のばらつきが生産性を阻害している可能性は否定できません。

本セミナーでは、組織全体の生産性向上に有効なポイントを大きく4つに絞り、「スキルパッケージ」としてケース演習を通じて体系的に習得することを目的としています。

≪詳細は裏面をご覧ください≫

◆本セミナーで習得できるスキル

- ・ 戦略的課題設定スキル・・・バックカスティングによる課題設定
- ・ 効果的な課題解決策を出す思考スキル・・・事業プロセス視点のロジカルシンキング
- ・ 組織を巻き込むコミュニケーションスキル・・・解決策を引き出すファシリテーション
- ・ 確実に結果を出すための実行スキル・・・ストレッチ目標を達成するリーダーシップ・マネジメント 等

●受講料● 1名(税込み、資料代含む)

正会員	41,040円	本体価格 38,000円
一般	44,280円	本体価格 41,000円

●正会員の登録の有無など、よくあるご質問(FAQ)は、当会ホームページでご確認いただけます。

(〔TOP〕→〔公開セミナー〕→〔よくあるご質問〕)

●お申込み後(開催日1週間~10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

●お申込後のキャンセルは原則お受け致しかねますので、ご都合が悪くなった際は、代理出席をお願い致します。

●最少催行人数に満たない場合ほか、諸般の事情により開催を中止させていただく場合もございます。

●FAXでお申込の際、「0(ゼロ)発信のFAX機」をご使用の場合は、必ず「0」を押してから、番号入力をお願い致します。(別番号への誤送信にご注意ください。)

一般社団法人企業研究会

担当：福田 E-mail fukuda@bri.or.jp

〒102-0083

東京都千代田区麹町5-7-2 麹 M-SQUARE 2F

TEL 03-5215-3516 FAX 03-5215-0951

申込方法 当会ホームページよりお申込みください。 <https://www.bri.or.jp>

企業研究会セミナー

検索

*セミナーの最新情報もご覧いただけます。

171883-0101(※)		2017.12.6	
申込書 仕事の変革・改革を実現するスキルパッケージ			
会社名	フリガナ		
住所	〒		
TEL	FAX		
ご氏名	フリガナ	所属	役職
Eメール			

【個人情報の利用目的】お客様の個人情報は、お申込受付後のご連絡やご請求等を行うため、また、ダイレクトメールの発送等、当会主催の各種事業をご案内するために利用させていただきます。

仕事の変革・改革を実現するスキルパッケージ

12月6日(水)

● プログラム ●

- 解説 -

10:00

■講師 株式会社ニューチャーネットワークス 張 凌雲 氏

I. 仕事の生産性が向上しないのは何故か？

- (1) 組織共通の思考プロセス、アウトプット志向を持つことが重要
- (2) なぜ、日本企業の生産性は低いのか
- (3) 仕事とプライベートを組み合わせたワークライフバランス

II. 仕事の成果、効率性を高めることを「習慣化」するためのマインドセット

- (1) 制約の中から仕事を組み立てる
- (2) ポジティブに仕事をすることのメリット
- (3) タイムマネジメントの方法
- (4) ハイパフォーマンス企業における仕事変革・改革の組織風土、DNA
(グループ演習；ロールプレイ)
ポジティブな場とネガティブな場でのアイデア発想の違いを体験

昼食休憩

III. 多様な人々と効率的に仕事をするための思考や行動の方法・スキル

- (1) 思考や行動方法、スキルの型を作る
- (2) バックキャストによる思考
- (3) シーン別に裁量の思考方法を選択する
- (4) 組織のパフォーマンスを引き出すためのコミュニケーション方法とツールの活用
- (5) 成果を生み出し続けるためのプロセス管理の方法
(グループ演習)
・バックキャストによるあるべき姿と課題設定
・複数の思考方法を用いて、課題解決アイデア発想方法の違いを体験

IV. 短時間・短期間で成果を生み出すための実践方法

- (1) ストレッチゴールを設定して仕事を行う
- (2) 短期のサイクルで仕事を回す
- (3) ブレークスループロジェクトによる仕事変革・改革を実現した事例と成功要因
(グループ演習；ロールプレイ)
ストレッチゴール、緊急状態から生み出される思考、行動を体験

V. 自組織にあったスキルパッケージ

- (1) 組織の課題を明確にしてからスキルパッケージを導入する
- (2) 出来ない、やらない理由が出ない環境をつくる

17:00